

訓小スクールバンド

全道大会に出場を報告

8月3日に北見市で開かれた第59回北海道吹奏楽コンクール北見地区予選で、訓子府小学校スクールバンドが金賞に輝くとともに、9月7日に札幌市で開かれる3年連続の北海道大会への出場権を獲得しました。

北見地区予選で訓小は、「ゲールフォース」(ピーター・グレイム作曲)を演奏し、丁寧な演奏が評価されました。

8月5日に部長の蔵田優楽さん(6年)ら3人の部員が訪れ、「全道大会では、全国大会出場をめざし、一生懸命演奏します」と話していました。



2年連続全国大会出場

中体連相撲の後藤さん

全国中学校体育大会第44回全国中学校相撲選手権大会が8月23日と24日に徳島県で開かれ、後藤雄大さん(訓中3年)が出場しました。

後藤さんは、7月30日に夕張市で開かれた中体連の全道相撲大会個人予選を3戦全勝とし、決勝トーナメント進出。決勝トーナメントの決勝戦では、今年の別の大会で負けている小学生時代からのライバルを倒し、見事優勝、昨年に続き2年連続で全国大会に進みました。

昨年の全国大会では、緊張感からか、自分の相撲が取れなかっただけに、今年は会場の雰囲気飲まれずに挑みました。



■ 服務規律保持のための取り組み状況 ■

(職員通知 平成25年12月20日に実施)

町民の不信を招くことのないよう倫理保持および交通安全などについて、機会あるごとに注意を喚起し、服務規律保持を図っています。

■ 職員研修の状況 ■

職員研修については、職員研修審査委員会を開催し、毎年研修計画を定め、北海道市町村職員研修センター、管内町村会などで行われる研修をはじめ、庁内研修を実施し効果的・効率的な研修の実施に努めています。

◇職員研修の参加状況◇

| 区分 | 内容 | 参加者数 |
|---------|--|------|
| 派遣研修 | 北海道市町村職員研修センター主催の税務事務、管理能力、地域力向上研修など | 3人 |
| | 管内町村会主催の新規採用職員、初級職員、中級職員、JST(新任係長)・法務(基礎・応用)、政策法務研修など | 13人 |
| 庁内研修 | 管理監督者のメンタルヘルス、道外先進地事例研修、自治大学校、全国小さくても輝く自治体フォーラム、東北被災地視察、徴収実務、姉妹町人事交流研修 | 12人 |
| | 新規採用初任者研修 | 2人 |
| その他研修 | プレゼンテーション研修(係長職以下) | 68人 |
| | コーチング研修(管理職) | 24人 |
| その他研修 | 自主参加型グループ研修 | 5人 |
| | 防災・減災講演会 | 87人 |
| | 救命講習 | 26人 |
| 計(延べ人数) | | 240人 |

平成25年度

**森下さん(緑丘)
全国酪農青年女性
酪農発表大会で優秀賞**

第43回全国酪農青年女性酪農発表大会が、7月に宮城県仙台市で開かれ、北海道代表として出場した森下智崇さん(緑丘)の実践発表が優秀賞を獲得しました。

森下さんは、今年3月に札幌市で開かれた第42回酪農経営発表大会で、最優秀賞を獲得し、全国大会に出場しました。



全国大会では、北海道大会と同様に「こだわりのコンパクト経営で強い酪農をつくる」をテーマに、「こだわり」の4本柱、①粗飼料②牛づくり③省力化④努力を掲げ、現状の経営規模を維持しコンパクト経営で所得率の向上をめざす内容を発表し、見事優秀賞を獲得しました。

**石川さん(駒里)
全国豆類経営改善
共励会で農水大臣賞**



石川さんは、平成21年に畑作経営を移譲され3代目。虎豆や小豆

国産大豆や小豆などの生産振興を図るため、全国農業協同組合中央会などが主催して開催している全国豆類経営改善共励会「小豆・いんげん・落花生等の部」で、駒里の石川修さんが農林水産大臣賞に輝き、今年6月に東京都内で表彰されました。

全国の豆類をはじめ、小麦、ビートなど合わせて25haの畑で栽培しています。このうち豆類は2ha(平成26年)で栽培。受賞の対象となった虎豆など豆類を地域の特産とし、小麦、ビートなどの一般的な三年輪作体系の中にこれら豆類を組み込み、可能な限り四年輪作としています。こうして地力の安定などに努めているほか、先代からの経験を参考にしながら、異常気象にも柔軟に対応した栽培方法、作業の省力化に努め、道内平均の2倍以上の収穫量を上げるなど高い生産性が評価され、今回の受賞につながりました。

■ 職員の福祉および利益の保護について ■

◇ 共済制度の概要 ◇

共済制度は、職員と家族の生活の安定、福祉の向上のため地方公務員等共済組合法に基づき、北海道市町村職員共済組合が実施主体となり次の事業を実施しています。

- ①短期給付事業 病気やけが、出産、死亡、休業、災害などに対する給付
- ②長期給付事業 退職後の年金などの給付
- ③福祉事業 保健事業、貯金事業、貸付事業、物資購入事業など

資購入事業など

また、北海道市町村職員福祉協会にも加入(平成26年度負担金予算額26万6,000円)しており、福利厚生事業(負担金事業、掛金事業、共同事業)のほか、医療給付事業や貸付事業、福祉年金事業などを実施しています。

◇ 職員福利厚生事業 ◇

職員の福利厚生事業としては、職員の健康診断を毎年実施しており、平成25年度の健診委託料は、107万9,515円となっています。

■ 特別職などの給料 ■

町長・副町長・教育長の給料は右の表のとおりですが、平成23年5月9日から、町長の給料は月額10%減額、副町長・教育長の給料は月額5%減額しています。

| 区分 | 月額(減額前) | 平成26年4月1日現在 期末手当 | | |
|-----|----------------------|------------------|--------|--------|
| | | 6月 | 12月 | 計 |
| 町長 | 65万7,000円(73万円) | 1.90月分 | 2.05月分 | 3.95月分 |
| 副町長 | 57万9,500円(61万円) | 1.90月分 | 2.05月分 | 3.95月分 |
| 教育長 | 51万7,750円(54万5,000円) | 1.90月分 | 2.05月分 | 3.95月分 |

■ 総務課職員係 (☎ 47-2112 役場2階窓口10番)